

—JA菊池自己改革取組宣言—

JA菊池は、これからも成果を積み上げ、求められる 未来あるJAをめざし、総合事業を展開します。

“創造的自己改革への挑戦”をメインテーマに「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現を目標に、自主・自立による自己改革を実践して参ります。また、自己改革の実践を支えるJAの経営基盤の確立をめざし、組合員・地域住民の方々に寄り添ったJAらしい地域密着の事業活動を展開します。

協同組合とは・・・組合員の一人ひとりが力を合わせ、みんなの願いをかなえていく組織であり、協同の精神である相互扶助にもとづく『共助』の結合体ともいえる組織です。

- ◆JAは農業者（正組合員）と農業者と共に地域農業を支える者（准組合員）が組織する協同組合です。組合員の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開しています。
- ◆地域農業の振興と農業者の所得向上、そして豊かな地域社会を築くことを目的に、農畜産物の販売や信用、共済、生活事業などの各事業による営農やくらしの活動を通じて総合的に取り組んでいます。
- ◆地域農業の振興には、営農指導員の配置や高額な農業関連施設への投資が必要です。信用、共済事業等を含めた各事業を総合的に運営し継続することで、JAの経営基盤が安定し地域農業の振興が可能になります。
- ◆JA各事業をご利用頂いている方をJAの応援団として准組合員に加入いただいています。農業者と地域農業の応援団の皆様が、JAの総合事業を通じて地域の活性化への願いをかなえる取り組みを互いに継続しあいます。
- ◆JAはこれからも総合事業を通じて、組合員・地域の皆様と共に地域の農業やくらしを守り、協同の精神を次代につなげるための活動に取り組んでいきます。

JAの指導事業の主な取り組みは次のとおりです。

令和元年度予算額は、**186,056千円**となっています。

※第10次地域農業振興計画に基づき、各種補助事業を活用した産地基盤強化に努めます。

※出向く体制を基本に、個々の経営に即した提案型生産販売に努めます。

※多様な消費者ニーズを的確に捉え、対応した生産と販売強化、消費宣伝活動を実施します。

(Ⅰ) 営農体制への支援

(営農改善費：133,449千円)

- ①農産物のブランド確立をめざし、営農指導では出荷査定会・現地検討会等の開催、販売では取引商談会・試食宣伝会・消費地研修等、所得の増大に関する事業に対して助成します。
- ②生産基盤の維持・拡大をめざし、若手後継者の育成に向けての栽培講習会・先進地視察研修等の開催、農業労働力の確保および負担低減対策等、生産の拡大に関する事業に対して助成します。
- ③安全・信頼のブランド強化をめざし、トレーサナビシステム（生産履歴管理）による検証、生産工程を管理するGAPへの取り組み、土壌分析診断による健全な土づくりの推進等、食の安全・安心に関する事業に対して助成します。
- ④家畜防疫対策として、畜産・酪農部に消毒薬、衛生資材等を配布し、各種衛生検査についても助成します。また、畜舎環境整備に対しても助成します。
- ⑤販売強化対策として、牛豚の各銘柄推進協議会の事務費を負担し、販売促進活動を助成します。また、乳質向上のための各種の検査料金に対して助成します。

(Ⅱ) 生産部会への支援

(組織育成費：33,802千円)

- ①生産部会で実施する役員会・専門委員会・女性部活動等、部会組織の育成に関する事業に対して助成します。

(Ⅲ) くらしの活動への支援

(生活改善費：5,280千円)

- ①組合員や地域住民の「仲間づくり」「絆づくり」「健康づくり」の支援をするとともに、活動に対して助成します。

(Ⅳ) 食農教育や情報発信への支出

(教育情報費：13,525千円)

- ①食農教育（まんまキッズスクール等）やJAに関する理解醸成と戦略的広報活動に対して支出します。